

P-1-7

住民票照会における5年予後の把握



佐藤優希¹⁾ 植野由佳¹⁾ 佐藤洋子¹⁾
目崎はる香¹⁾ 齋藤美登里¹⁾ 金村政輝¹⁾²⁾

1 宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室
2 宮城県立がんセンター 研究所 がん疫学・予防研究部

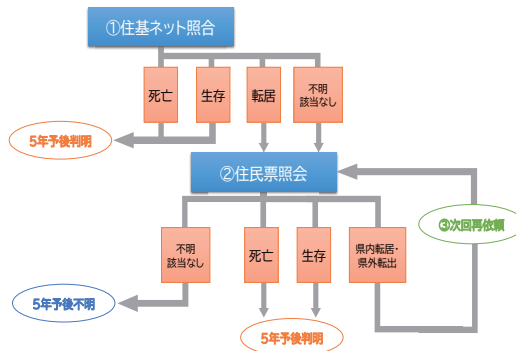
はじめに

- ・地域がん登録においては、人口動態統計の死亡小票の利用は県内分に限られており、正確な予後を把握するには限界があった。
- ・宮城県では、2006年から2015年罹患症例の地域がん登録の症例について5年予後の把握のため、住基ネット照会および住民票照会を行ってきた。
- ・5年予後を把握するまでに住民票照会を何度行う必要があるのか検討した。

方法

(1)宮城県における住民票照会の方法

- ①住基ネット照会を実施(宮城県庁)
- ②住民票照会を実施
※対象者:①住基ネット照会にて転居および不明・該当なしの症例
- ③転居の症例については予後が判明するまで繰り返し住民票照会を実施



(2)検討の方法

2006年から2015年罹患症例を対象に住民票照会の件数及び経年での予後判明率を算出した。

なお、初回の2006・2007年罹患症例については、住民票照会の実施方法が異なるため、2008年から2015年罹患症例を対象とした。

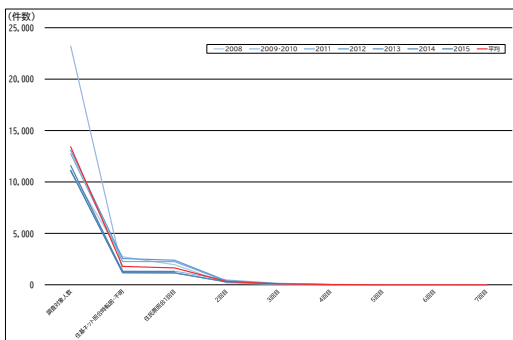
結果

①住民票照会の件数

調査対象年 (罹患年)	住基ネット照会		住民票照会						
	調査対象人数	住基ネット照会時 転居・不明	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
2008	11,021	2,725	1,950	181	50	14	2	0	0
2009-2010	23,224	1,336	1,327	467	147	38	11	6	0
2011	12,749	2,265	2,247	340	68	16	7	0	0
2012	13,099	2,555	2,392	388	96	29	0	0	0
2013	11,155	1,170	1,161	268	70	0	0	0	0
2014	11,101	1,181	1,154	297	0	0	0	0	0
2015	11,591	1,275	1,275	0	0	0	0	0	0
平均	13,420	1,787	1,644	324	86	24	7	3	0

②予後判明率(累積)

調査対象年 (罹患年)	住基ネット照会 結果	住民票照会(累積) (%)						
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
2008	75.3	84.5	85.4	85.8	85.9	85.9	85.9	85.9
2009-2010	94.2	96.9	98.1	98.6	98.7	98.7	98.8	98.8
2011	82.2	95.7	97.8	98.1	98.2	98.3	98.3	98.3
2012	80.5	94.4	96.5	97.0	97.2	97.2	97.2	97.2
2013	89.5	96.6	98.3	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5
2014	89.4	96.3	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5
2015	89.0	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1	97.1
平均	86.7	94.8	96.5	97.0	97.2	97.2	97.2	97.2
増加率	-	8.2	1.7	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0



- ・5回目または6回目の住民票照会で対象者が10を切っている。
- ・住民票照会1回目終了時点での予後判明率は94.8%であった。
- ・3回目以降の増加率は1%未満であった。

まとめ

- ・住民票照会1回目終了時点での予後判明率は94.8%と高く、3回目以降では増加率が1%未満であると判明した。
- ・住民票照会実施前後における生存日数にどの程度の差があったのか確認したい。

日本がん登録協議会
第31回学術集会

COI開示
筆頭演者名:佐藤 優希

当演題発表に関し、開示すべきCOIはありません。